

水稻高標高試験圃の生育状況(令和4年)

農業試験場原村試験地(標高1,017m)

調査時期	調査項目	きらりん(参考)				ゆめしなの				あきたこまち			
		前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差	前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差	前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差
移植後 20日	主稈葉数(枚)	6.4	6.0	5.5	-0.5	6.3	5.9	5.1	-0.8	6.3	5.9	5.6	-0.3
	草丈(cm)	28	29	28	97%	32	30	30	100%	26	26	25	96%
	茎数(本/m ²)	105	129	108	84%	80	103	83	81%	75	82	76	93%
移植後 30日	主稈葉数(枚)	7.7	7.6	7.5	-0.1	7.5	7.5	7.0	-0.5	7.7	7.5	7.5	±0
	草丈(cm)	30	35	33	94%	33	35	35	100%	26	29	29	100%
	茎数(本/m ²)	200	273	250	92%	143	220	198	90%	127	164	168	102%
移植後 40日	主稈葉数(枚)	9.4	9.3	9.2	-0.1	9.3	9.0	9.0	±0	9.3	9.2	9.4	+0.2
	草丈(cm)	42	49	53	108%	45	51	58	114%	37	41	49	120%
	茎数(本/m ²)	416	533	535	100%	282	456	472	104%	294	348	496	143%
移植後 50日	主稈葉数(枚)	10.4	10.4	10.7	+0.3	10.3	10.2	10.6	+4	10.2	10.4	10.9	+0.5
	草丈(cm)	58	62	68	110%	61	67	72	107%	51	54	62	115%
	茎数(本/m ²)	431	603	573	95%	366	533	486	91%	399	449	515	115%
幼穂形成期	期日(月日)	7/7	7/2	7/4	+2	7/13	7/11	7/8	-3	7/19	7/16	7/14	-2
出穂期	期日(月日)	8/2	7/29	7/28	-1	8/5	8/4	8/2	-2	8/10	8/9	8/6	-3
成熟期	期日(月日)	9/14	9/10	9/11	+1	9/22	9/20	9/17	-3	9/26	9/26	9/26	±0
	稈長(cm)	70	71	79	111%	76	82	89	109%	78	80	89	111%
	穂長(cm)	18.4	18.0	18.9	105%	19.9	18.3	18.5	101%	17.7	17.4	18.0	103%
	穂数(本/m ²)	494	540	448	83%	334	423	341	81%	389	372	331	89%
	玄米重(kg/a)	50.7	58.0	66.7	115%	55.1	65.4	64.4	98%	61.0	62.7	70.7	113%
	千粒重(g)	21.5	20.8	23.8	114%	22.0	22.1	24.3	110%	21.5	21.7	24.0	111%

平年値:平成27年～令和3年のうち収量最高、最低年を除く7中5年の平均。

移植日:令和4年5月25日 1株3本手植え 中苗、栽植密度:22.2株/m²(30cm×15cm)

移植後20日の生育は、いずれの品種も草丈は平年並みだが、主稈葉数、茎数は遅れている。育苗期間から6月上旬まで低温傾向で推移したことから、移植時の平均葉数が例年より少なく(いずれの品種も平均3.0葉)、その後の生育も緩慢に推移したと思われる。

移植後30日の生育は、主稈葉数は「きらりん」、「あきたこまち」で平年並み、「ゆめしなの」でやや遅れている。草丈はいずれの品種も平年並みである。茎数は「きらりん」、「ゆめしなの」はやや少なく、「あきたこまち」は平年並みである。気温が高温で推移したことから、移植後20日と比べ生育が回復したと思われる。

移植後40日の生育は、いずれの品種も主稈葉数は平年並み、草丈は長い傾向である。茎数は「きらりん」、「ゆめしなの」で平年並み、「あきたこまち」でかなり多い。6月下旬が高温(日平均気温で平年+4℃程度)であったことから生育が前進したと思われる。

移植後50日の生育は、いずれの品種も主稈葉数は進み、草丈は長かった。茎数は「きらりん」「ゆめしなの」でやや少なく、「あきたこまち」で多かった。

幼穂形成期は、「きらりん」で2日遅く、「ゆめしなの」で3日、「あきたこまち」で2日早かった。

出穂期は、「きらりん」で1日、「ゆめしなの」で2日、「あきたこまち」で3日早かった。

成熟期は、「きらりん」、「あきたこまち」は概ね平年並み、「ゆめしなの」は3日早かった。

稈長、穂長はいずれも平年より長く、穂数はいずれも少なかった。収量は「きらりん」、「あきたこまち」は平年より多く、「ゆめしなの」は平年並みであった。